



TITLE:

質疑應答

AUTHOR(S):

CITATION:

質疑應答. 地球 1934, 21(3): 242-242

ISSUE DATE:

1934-03-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/184262>

RIGHT:

送られた、山狼も亦千枚位輸出された、山猫もあるが輸出に向かない。インクスは米國向で平均五十元で一十枚を出した。褐色熊は毛が粗いから十二元位、栗鼠は五萬枚も出て一枚二元、虎の皮は八十元乃至二百元であるが數が出ない。豹の皮は六十元程度、兎の輸出は少くなつた。犬毛皮も近年紐育倫敦から注文が入つたが、米國の需要が減じた。要するに北滿の毛皮では昨年度のシーズン(十一月より四月まで)八十三萬枚三百二十萬元に上つたが重要なものはコローク・犬及びソロンゴイの三者であつた。

質疑應答

問 滿洲國有鐵道とは何々であるか。(山形・I生)

答 滿洲にはソウイェットの關係する北滿鐵道一、七二〇軒及び南滿洲鐵道一、一三〇軒の外に國有鐵道三、三五〇軒がある。この國有鐵道は借款一億三千萬金圓の擔保として其經營は滿鐵に委託された。その重なるもの左の如し。

一、奉山線……奉天・山海關間、昭和七年獨立、支線に錦州、北票間、葫蘆島支線、大虎山・通遼間支線がある。この線はもと北京までの北寧線であつて英國から二百三十萬磅の借金で出来たものであるから、對英借款一九三二年度六五、八五〇磅八片と同年九月に、中英公司代表に支拂ひ、爾後規定額を支拂つてゐる。

二、瀋海線……奉天—朝陽鎮間、支線、梅河口—西安間。
三、吉海線……朝陽鎮—吉林間。

四、京圖線……イ、吉長線(吉林—長春間)、ロ、吉敦線(吉林—敦化間)、ハ、敦圖線(敦化—圖們間)全長五二八軒、大同二年五月開通。

五、四洮線……四平街—鄭家屯間、通遼—鄭家屯間、鄭家屯—洮南間。

六、洮昂線……洮南—昂々溪間、大正十四年滿鐵が千二百九十二萬圓で敷設したが、張作霖は工事中の利息と經費を拂はなかつたものである。

七、洮索線……洮安—懷遠鎮。

八、齊北線……チ、ハル—北安二百三十軒間、この中齊克線とて泰安から克山間は事變後に出来たが、克山から北安迄も事變後に出来た。北安から東は賓北線といふ。

九、賓北線とはハルビン對岸から海倫まで、元來呼海線といひ、海倫から克山までは海克線といひ、この方は事變後に出来た。今日では北安までを賓北線と呼ぶのである。北安鎮は克山の東北にあつて、こゝから北は陸路龍鎮をへて愛理に通じ、一方訥河支線とて齊北線の拉哈站から訥河まで事變後に出来たが、北上して墨爾根をすぎ黑河に連絡せんとするのである。文檢の問題に出た海克線といふ名は今日は無くなつた。賓北線は目下松花江鐵橋築造中で拉賓線に連絡する。

一〇、拉賓線……京圖線の拉法(吉林の東)から哈爾濱に達する一大幹線である。昨年末に出来た。(F)

〇第二十一卷 第二號 下段二行目 正誤

誤 職を奉ずる
正 研鑽中なる